



スリーピング・クイーン

和文抄訳 0.1版

【プレイ人数】2人～8人 【対象年齢】8歳以上 【出版元】GameWright

内容物

カード:79枚
クイーン:12枚
キング:8枚
道化師:5枚
騎士:4枚
眠り薬:4枚
魔法の杖:3枚
ドラゴン:3枚
1～10までの数字カード:各4枚

ゲームの目的

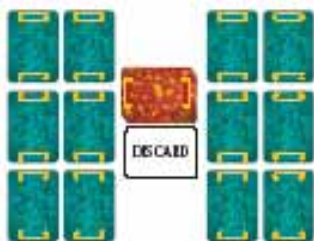
このゲームではプレイ人数により勝利条件がことなります。

2～3人のとき
クイーンを5枚集める。もしくは50ポイントを獲得する。
4～5人のとき
クイーンを4枚集める。もしくは40ポイントを獲得する。

ゲームの準備

このゲームを初めてプレイする場合は、一度カードの構成を確認しておいて下さい。
クイーンのカードは全てポイントが異なります。他にもキング、騎士、ドラゴン、道化師、眠り薬、魔法の杖、1-10までの数字カードなどがあります。

まずカードの裏をみて色ごとに2種類のデッキに分けてください。
12枚のクイーンカード(裏地が緑)はよく混ぜて、テーブル上に伏せて並べてください。
クイーンカードは伏せられている間、眠っているものとみなされます。
残りのカード(裏地が赤)は良く混ぜて、各プレイヤーに5枚ずついきわたるようにします。残ったカードは伏せた山として、クイーンカードの中心に置きます。
伏せた山のすぐ横は、ゲーム中にプレイされたカードを置く場所になりますので、スペースを確保しておいて下さい。



ゲームの進め方

ディーラーの左隣に座っているプレイヤーをスタートプレイヤーとし、その後は時計回りに手番を交代していきます。

手番では、以下の行動の中から一つを行い、その後にカードを1枚補充します。

キングのカードをプレイすると眠っているクイーンを起こすことができます。

* プレイしたカードは中央の捨て札スペースにおいてください。

カードをプレイしたら、中央に伏せられている(眠っている)クイーンカードを1枚選び、表替えて自分の前に置きます。これによりクイーンは目を覚ましてあなたの元に滞在している事になります。

起こしたクイーンが幸運にも薔薇のクイーンであった場合は、もう1枚追加でクイーンを起こすことができます。



騎士のカードをプレイすると既に目を覚ましていたクイーンを他のプレイヤーから盗む事ができます。

カードをプレイしたら、誰か他のプレイヤーの手元に置かれているクイーンを自由に選び、自分の前に置きなおします。



ドラゴンのカードは他プレイヤーの騎士によって手元のクイーンカードを盗まれるのを防ぐ事ができます。

ドラゴンカードは他プレイヤーに騎士カードをプレイされ、その対象が自分であったときに即座にプレイすることで効果を発揮します。プレイされた騎士カードとドラゴンカードは両方とも捨て札になります。その後、双方のプレイヤーが山札より1枚カードを補充します。ドラゴンカードを出す行為自体は手番を行ったことにはなりません。次の手番は通常通り、騎士カードをプレイした左隣のプレイヤーになります。



眠り薬のカードをプレイすると、他のプレイヤーの手元にある目覚めたクイーンカードを再び眠らせることができます。

カードをプレイしたら、他プレイヤーの手元のクイーンカードを1枚選びます。選ばれたカードは再びテーブルの中央に伏せて戻されます。(ヒント:伏せた場所を覚えておけば、後々役にたつかも知れません。)

魔法の杖のカードは他プレイヤーの眠り薬によって手元のクイーンカードを場に戻されてしまうのを防ぐ事ができます。魔法の杖カードは他プレイヤーに眠り薬カ



ードをプレイされ、その対象が自分であったときに即座にプレイすることで効果を発揮します。プレイされた眠り薬カードと魔法の杖カードは両方とも捨て札になります。その後、双方のプレイヤーが山札より1枚カードを補充します。魔法の杖カードを出す行為自体は手番を行ったことにはなりません。次の手番は通常通り、眠り薬カードをプレイした左隣のプレイヤーになります。



道化師カードをプレイすると、すべてのプレイヤーにチャンスが訪れます。カードをプレイしたら、まず山札の一番上のカードを表向けます。もし表向けたカードが数字以外のカード(キングなど)であった場合、道化師カードを出したプレイヤーがそのカードを手札にします。もし表向けたカードが数字カードであった場合、その数字の分だけ道化師カードを出したプレイヤーから時計回りでカウントダウンしていきます。カウントダウンの結果、ちょうどゼロの部分にあたったプレイヤーは中央の伏せられたクイーンカードを1枚自分の手元に表替えて置くことができます。

以上のように特殊能力のあるカードを使うことで、クイーンカードを獲得していく事がこのゲームの目的です。特殊能力のない数字カードでは、直接クイーンカードを獲得する事ができませんが、数字カードを下記ルールに乗っ取って捨て札にすることで、再び手札が5枚になるまでカードを補充する事ができます。カードの捨て方とその後の補充については3つの方法があります。

方法 『カードを単独で1枚捨てる』
どんな数字カードでも1枚捨て札とすることで、カードを1枚補充します。

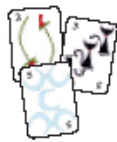


方法 『数字でペアになっているカードを捨てる』どんな数字カードでも2枚ペアになっているものを捨て札とすることで、カードを2枚補充します。

方法 『3つ以上の数字カードで足し算の方程式を作り、そのカードを全て捨てる』

3枚以上のカードで足し算の方程式を作れた場合、そのカードを全て捨て札として、その枚数分だけカードを補充する事ができます。

例えば、2・3・4・9のカードを持っていた場合、 $2+3+4=9$ という足し算の方程式が成り立つので、4枚全てを捨て札として、カードを4枚補充する事ができます。



ルールを守ればそんなことはおきないと思いますが、手札は5枚以上にはならないことに気をつけておいて下さい。

特殊能力のあるクイーン

わずかながら、目覚めた瞬間に特殊能力を発揮するクイーンカードも存在します。

薔薇のクイーンはたったの5ポイントしかありませんが、彼女を目覚めさせたプレイヤーは、即座にもう1枚クイーンカードを表返すことができます。表返したクイーンカードは薔薇のクイーンと共にプレイヤーの前に置かれることとなります。



猫のクイーンと犬のクイーンの両方を手元に置いておくことはできません。なぜなら彼女達はとても仲が悪いからです。どちらかのクイーンを手元に持っている状態で、もう一方のカードを表返してしまった場合、表返したカードは再び伏せて場に返さなければなりません。またこのとき他のクイーンカードを新たためて表返す事もできません。



ゲームの終了

プレイ人数によって条件が異なりますが、誰かが以下の勝利条件を達成した瞬間にゲームは終了します。

2~3人のとき
クイーンを5枚集める。もしくは50ポイントを獲得する。

4~5人のとき
クイーンを4枚集める。もしくは40ポイントを獲得する。また、伏せられたクイーンカードが全て無くなった場合もゲームが終了します。その場合、手元にあるクイーンカードの点数の合計値が最も多いプレイヤーが勝利します。

訳者あとがき

和文抄訳作成にあたり、2ページに収めなかったのでルールに関係のないテキストは排除しました。山札が無くなったなら捨て札をシャッフルしてください。

【2008年 海長とオビ湾】